

令和 6 年度 第 3 回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会

議 事 録

日 時：令和 7 年 3 月 19 日（水） 14 時 00 分～15 時 00 分

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館 研修室

出席委員：高橋大作（札幌彫刻美術館友の会会長）、児玉聡夫（宮の森明和会会長）、紺野高裕（札幌市立三角山小学校校長）、手塚裕史（札幌市市民文化局文化部文化振興課事業調整担当課長）、佐藤郁絵（札幌市立大倉山小学校 P T A）、嶋田雅人（彫刻美術館課長）以上 6 名

所 管 課：柳本和寛（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係長）

小川桜（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係事務職員）

事 務 局：吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）、梅村尚幸（事業係事務職員/学芸員）、柳原潤（業務係事務職員）、白浜玲（同業務係事務職員）

次 第：1 開会

2 議事

（1）令和 6 年度事業報告（12 月～2 月）

(2) 令和7年度事業企画状況

(3) その他

当日配付資料：

- ・ 令和6年度事業経過報告(12月～2月)
- ・ 「本郷新記念札幌彫刻美術館 令和6年度入館者アンケート集計(2024年12月～2025年2月)」
- ・ ほか配付物

彫刻の設計図展チラシ、山内壮夫展チラシ

議事内容：

(1) 令和6年度事業経過報告(12月～2月)

事務局より配付資料に基づき、令和5年度事業経過報告(12月～2月)について報告を行った。

(2) 令和7年度事業企画状況

事務局より配付資料に基づき、令和7年度事業計画状況の説明を行った。

(3) アンケート集計報告

嶋田委員より、配布資料に基づき、アンケート集計(2024年12月～2月)の結果報告を行った。

(4) その他

（５）意見交換

高橋委員：山内壮夫のご遺族から著作権に関して委任されている友の会としては、

彼の作品や遺産に深い愛着を持っている。特に会員たちは彼の「希望像」を大切にしており、冊子作成時には必ずそれを取り入れている。

また、没後 50 年の山内壮夫展を開催してくれる感謝している。

吉崎館長：マンガの伝記本制作をしており、学校教育への連携、電子書籍の活用、

地域コミュニティとの協力、一般書籍としての販売を考えている。

佐藤委員：マンガというのが楽しみで入口として入りやすく、大人も子供も楽し

める。本ということであれば、大倉山小学校では地域開放図書館「山」

がとても歴史があり、地域の人々の利用も多いところになっている。予

算を組んで新しい本を購入しているが、「すぐる」を活用して広く

周知しているので、PTA が窓口になって司書に話を通すと広まりや

すくなる。

嶋田委員：開放図書館の運営は開放図書館の委員会が運営しているのか。

佐藤委員：札幌市内にある開放図書館は年に何回か集まり、会議をしている。情

報共有に関しては開放図書館というカテゴリー行っている。

紺野委員：学校に 1 冊ずつ配本されて、図書委員会が紹介したり、PTA 図書室と

いうのがあり、保護者の方が借りたりもできる。授業で使うとなると

「札幌市学校図書缶情報センター」が運搬を行っており、1 セット 3

5 冊～40 冊おいてあり、市内の学校で使用でき用になっている。寄

託図書という制度があり、授業で利用できる。

吉崎館長：タブレットを使用して本をビューアーでみるというのはどうか。

紺野委員：QR コードを読み込んだら電子書籍として使用できると思うが、著作権に関してはセキュリティ上配慮が必要。

嶋田委員：電子書籍で負担なく配布できるか検討していく。

高橋委員：第1号のマンガ本が本郷新ならば、山内壮夫、佐藤忠良なども作って小学校の時に偉人伝のように読んでもらえるのではないかな。

佐藤委員：本の制作段階において、注釈とルビに関しては配慮してほしい。

児玉委員：町内会でホームページを作っているが、美術に興味のない方でも参加できるようにツアーなどを組んで提案していきたい。

吉崎館長：帝国劇場にあった本郷新の「喜怒哀楽」という仮面が美術館に寄贈され、記念館に飾られます。教育的なプログラムでかつようできるのではないかと考えている。

吉崎館長：小学校・中学校に1冊ずつマンガを送ろうと検討しているが、PTA 図書館などもっとあった方がよいということでしょうか。

佐藤委員：事前の調査が必要。学校の授業に利用するならば、1セットあればよいと思われるが、予算がある開放図書館であれば購入してくれる。

手塚委員：彫刻の設計図展の入場者数はどうか。

嶋田委員：時期とテーマがはっきりしているところから若い人を多く見かける。

梅村学芸員：今回新しいデザイナーを頼み、チラシ・看板を作ったが、20代女性が看板を見て来館され、幅広い世代に刺さるワクワクするようなデザインになっている。

佐藤委員：外国語対応は怎么样了。

嶋田委員：パンフレットは英語対応しているが、十分な外国語対応ができていな

いのが、実情。

佐藤委員：やさしい日本語対応はしていますか。

紺野委員：学校では市教委からポケトークが貸し出されている。

嶋田委員：検討し、調査します。